

おとと きもちいい！！

足元の葉っぱも赤や黄色や茶色に色づいてきたり、風に吹かれてカサカサと音をたてて動いていたり、いろいろな木の実が落ちていたり、身の回りの様子も少しづつ変化してきました。そんな中、行動範囲もぐんぐん広がり、探索してまわっていた子どもたちです。「ここに行ったら、こんな物がある！」と少しづつわかるようになってきて、「あそこのアレをやりたい！」というように靴を履くと目当てのところへトコトコと歩いて行くようになりました。年上の子どもたちが遊んでいるのを遠くからじっと見ていて、あとでそっと触ってみたり、「何しているの？」と興味津々で覗いてみたりもしています。身近なところに松ぼっくりやどんぐり、木の枝、落ち葉などいろいろな小さな秋があり、その他にも絵の具や色水などいろんな興味ある物もあり、それらを発見したり、触ったりして、心を動かして秋を感じていた子どもたちでした。これからも身近な自然に触れて楽しんでいって欲しいなと思います。

